

■ ほったのさくあと  
弘田柵跡の発見者

# 後藤 宙外

ごとう ちゅうがい

出身地 大仙市（旧仙北町）

1866年（慶応2年）～1938年（昭和13年）



『新小説』編集主任時代に多くの新人作家を世に出す。郷里高梨村の水田から連続的に掘り上げられた杉の角材に注目。「高梨村弘田柵跡略図」を作成、発掘を行う。日本から出土する古代木簡研究のパイオニア。

## 年譜

- 1866年 大仙市（旧仙北町）に生まれる。本名・寅之助。
- 1894年 東京専門学校卒業。
- 1895年 『早稲田文学』記者。『ありのすさび』を発表。
- 1897年 雑誌『新著月刊』の編集に参加。
- 1900年 雑誌『新小説』の編集主任。
- 1919年 六郷町長。
- 1928年 『高梨村郷土沿革記』の編集を開始。
- 1930年 弘田柵跡を発見し、その発掘調査に当たる。
- 1936年 『明治文壇回顧録』を出版。
- 1938年 福島県で没。71歳。